

## ■ キャンバー角

基本は1度に調整します。キャンバーをつけていく（タイヤを八の字）とフロントの入りが良くなり、逆にキャンバーを起こすとアンダー傾向になります。

## ■ ロアアーム スキッド角

ロアアームスキッド角をつける（ロアアームが前上がり）とパワーオフのときのフロントの沈み込みが良くなりギャップ走破性にも優れます。逆スキッドではフロントサスアームのアンチダイブとなりフロントシャーシ下面の底付きが軽減できます。

## ■ ダウンストップ

フロントのダウンストップの調整を行なうのに、必ず左右を同じ高さに合わせてください。ダウンストップ量を増やしていく（ネジを締め込む）とフロントのロールが増え、逆に少なくするとフロントロールが減ります。

## ■ キャスター角

フロントのキャスター角をつける（寝かす）方向にすると直進安定性が増し、キャスター角を減らすとステアリングの初期反応が良くなります。

## ■ フロント サイドスプリング

フロントサイドスプリングは標準でハードが取り付けられています。オプションでのミディアム、ソフトスプリングが用意されており、スプリングを柔らかくしていくと曲がるようになっていきます。

## ■ リヤ サイドスプリング

リヤサイドスプリングの調整は基本、締め付け量0ミリからスタート、ロアブレースを左右にロールさせたときに均等に戻るように調整してください。

## ■ リヤ スプリング調整

リヤスプリングの締め付け調整は、メインシャーシリヤロアブレースが地面と平行になるように調整して下さい。（バッテリーを乗せた状態）リヤスプリングは基本的にゴールド（ハード）を使用しますがオプションでミディアム、ソフトが用意されています。スプリングを軟らかくしていくとギャップ走破性が良くなり GT500が曲がるようになります。

## ■ ロールダンパー

ロールダンパーオイルを硬くしていくとリヤグリップが増す方向になります。

## ■ ピッチングダンパー

ピッチングダンパーオイルを硬くしていくとリヤグリップが増します。アスファルト路面では硬くしていく方向となり、カーペット路面ではやわらかくしていく方向となります。

1/12 GT500 をセッティングしていくうえで、最初にリヤグリップをしっかりと確保したところでフロントの曲がり調整していくと良い結果が得られます。

## メモ/Notes